

コロナ禍での海外研修のため、オンラインになってしまったのは残念でしたが、オンラインだからこそ、日本にいながらも2週間、みっちり中国語に触れる機会となり、自分の中国語のアウトプットの間としてとても良い時間を過ごせました。

クラスは、中級と上級に別れ、少人数で北京外国語大学の先生の中国語を聞いたのがとても良い機会でした。わたしは上級クラスに参加したのですが、先生は私たちのレベルに合わせてわかりやすく、はっきり、ゆっくりと中国語を話してくれました。また、教科書の中からいくつか重要な単語を先生がピックアップして、その単語の意味や、発音、例文をわかりやすく説明してくれたので、単語を覚えるというよりは、使い方まで一緒に学ぶことができました。そして、その単語を使って自分たちで例文を考えて発表し、先生からの指導を受けたことで、文法まで一緒に学ぶことができ、とても有意義な2週間を過ごすことができました。

北京外大の中国語教育専攻の大学院生と日本人学生二人のグループ授業では、大学院生の方が毎回、とても手の込んだパワーポイントを私たちの興味のあるトピックから、作ってくれて、日本にいるだけでは学べない、日常生活ですぐに役立つような中国語を会話形式で学ぶことができ、細かいところの指摘や、わたしたちが分からなかった時に気軽に質問できて、かつ、アウトプットの間としてとてもよい時間でした。

文化の授業では、わたしたちが日本で学んだことにプラスして、中国の朝ご飯やイベントなど、より深い文化について興味深いところまで知ることができました。日本について、私たちが中国語で紹介する機会もあり、日本の文化を私たちの中国語で紹介でき、お互いの文化交流の良い機会になったと思います。

その後、受けたHSKではリスニング力が上がった気がしました。次は、北京外大に直接訪問できたらなと思います。